

ニュースリリース 2014.3.27

株式会社オンワードホールディングス

「オンワード・リユースパーク」が吉祥寺に3月28日グランドオープン
～環境・社会貢献をテーマにしたニューコンセプトショップ～
オンワードのリユース商品をチャリティー価格で提供

株式会社オンワードホールディングス(本社:東京都中央区 代表取締役会長兼社長:廣内 武)は、オンワードグループが取り組む様々な環境・社会貢献活動を生活者にダイレクトに伝える発信拠点として、また「23 区」「組曲」「J. プレス」などオンワードブランドのリユース商品をチャリティー価格でご提供し、その収益を環境・社会貢献活動に還元する業界初の店舗として、「オンワード・リユースパーク」を東京・吉祥寺に3月28日(金)グランドオープンさせます。

21世紀を迎えて10年を越えた今、私たちの豊かな生活と引き換えに、環境問題は年々深刻化しています。かけがえのない地球環境を未来に引き継ぐために、限りある資源を有効に活用していかなければなりません。

オンワードグループでは、“この地球(ほし)を想う。この服をまとう。”をコンセプトに環境経営を推進。メーカーの責任として自社の商品をお引き取りし、リユース・リサイクルすることで衣料循環システムの構築を目指す「オンワード・グリーン・キャンペーン」を2009年からスタートさせました。その後、「服を捨てたくない」「着なくなった服を役立てたい」というお客様の想いの輪が着実に拡がり、5年間で約22万人の方々から約120万点の衣料のご提供をいただくことができました。また、回収衣料から生まれたリサイクル毛布は、日本赤十字社などの協力により、世界の被災地などに約1万6千枚を寄贈することができました。

当社では、同キャンペーンを5年(10シーズン)実施した節目を機に、今後もこの取り組みの輪をお客様とより深めていきたいという想いを込めて、環境・社会貢献型店舗「オンワード・リユースパーク」を出店します。同店舗では、「オンワード・グリーン・キャンペーン」を始めとするオンワードグループの様々な環境・社会貢献活動をダイレクトに伝える場として、また、生活者がショッピングを楽しみながら、この地球(ほし)の未来に貢献できる場として、末永く愛される店舗を目指していきます。

「オンワード・リユースパーク」は、緑が溢れ人と自然が共生する街であると同時に、個性的な生活文化の発信拠点でもある吉祥寺に出店します。同店舗はJR吉祥寺駅に程近い路面店で、3つのフロアから構成され約380m²の面積を有します。各フロアでは、1階レディース・キッズ、2階レディース、3階レディース・メンズ・雑貨のリユース商品を取り揃え、全てチャリティー価格にてご提供します。店舗の収益は全て当社の環境・社会貢献活動に活用する方針です。お買い上げいただいた方には、もれなく回収衣料から生まれたリサイクル軍手をプレゼントします。また、店内のハンガー、椅子、レジカウンター、文房具などは高知県の間伐材を使用。さらに、古米を原料としたショッピングバッグを使用するなど環境に優しい店舗となっています。

※「オンワード・リユースパーク」では、衣料品のお引き取りや買い取りは行いません。

「オンワード・リユースパーク」のビジュアル



外観



1階フロア



2階フロア



3階フロア

「オンワード・リユースパーク」の収益は、環境・社会貢献活動に活用



1 衣料品の循環を目指す「オンワード・グリーン・キャンペーン」の実施

オンワードグループでは、ご使用後の衣料をお引き取りし、リサイクル・リユースを進める活動を行っています。例えば、回収衣料の一部からリサイクル毛布や軍手を生産し、日本赤十字社などの協力のもと世界の被災地などに寄贈しています。

2 環境配慮型製品の開発

オンワードグループは、自然界に存在するバクテリアに分解されて土に戻る「生分解衣料」である「バイオテックジャケット」を開発・販売しています。

3 森林保全活動の推進

オンワードグループは、高知県高知市との協定森林「土佐山オンワード“虹の森”」において、間伐を始めとした森林保全活動を行っています。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」の概要

オンワードグループでは、“この地球(ほし)を想う。この服をまとう。”をコンセプトに掲げ、経営の重点施策のひとつとして、環境経営を推進しています。その一環として、ご愛用いただいた当社の衣料をお客様から引き取り、可能な限りリサイクル・リユースすることを通じて、衣料循環システムの構築を目指す「オンワード・グリーン・キャンペーン」を春と秋の年2回実施しています。

日本における衣料品のリサイクル率(リユース・リペア含む)は26%(※1)にすぎず、多くの衣料品が焼却、埋め立て処理されており、アルミ缶、ペットボトルなどの生活用品と比べるとリサイクルが進んでいないのが現状です。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」は、環境活動として、同社が販売したメンズ、レディス、キッズ、スポーツなど幅広い衣料を引き取り、可能な限りリサイクル、リユースを行うことを目的に、2009年春からスタートしました。リサイクルに関しては、RPF(固形燃料)に再生して、大手製紙工場の代替エネルギーとしての活用や、繊維製品の原料となるリサイクル糸を作り、その糸を使用して毛布や軍手を生産します。さらに、社会貢献活動として、生産した毛布や軍手を日本赤十字社を通じて、世界の被災地支援などのために寄贈しています。また、リユースとしては、「オンワード・リユースパーク」の収益の全てを環境・社会貢献活動に活用します。

衣料品をお持ちいただいた方には、お引き取り1点につき1枚、引き取りを行った百貨店内の同社ブランドでご利用いただけるクーポン券「オンワードグリーンチケット」を進呈しています。

※1 独立法人中小企業基盤整備機構「繊維製品 3R関連調査事業」報告書より

